

平成 29 年度 全国学力・学習状況調査の結果

今年度も、本市全 13 校において、小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に、調査が行われましたので、結果をお知らせします。



調査の概要

実施日

平成 29 年 4 月 18 日 (火)

実施学年・人数

小学校 6 年生 市内 9 校 209 人

中学校 3 年生 市内 4 校 264 人

調査の内容

1. 教科に関する調査
 - ①国語A、算数・数学A (主として「知識」に関する問題)
 - ②国語B、算数・数学B (主として「活用」に関する問題)
2. 生活習慣や学習環境などに関する質問紙調査

調査の結果

教科に関する調査結果

小学校 6 年生

平川市は、国語・算数ともに全国および県平均を上回る結果となりました。青森県は全国の上位に位置しています。特に、算数Bは昨年度全国平均を下回っていましたが、今年度は上回っており、活用力の育成に一定の成果が現れました。

中学校 3 年生

平川市は、国語・数学ともに全国平均を下回る結果となりました。特に、数学に課題を多く残す結果となり、基礎基本を確実に習得する必要があります。



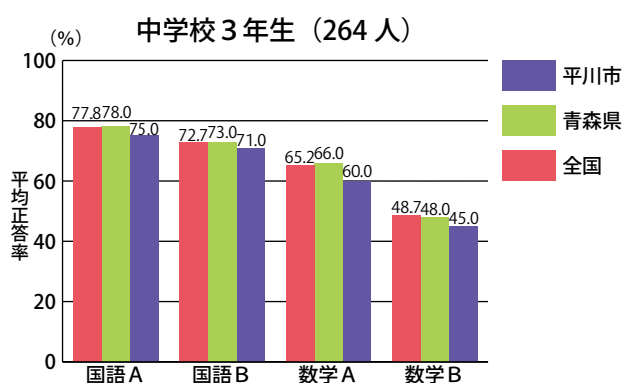
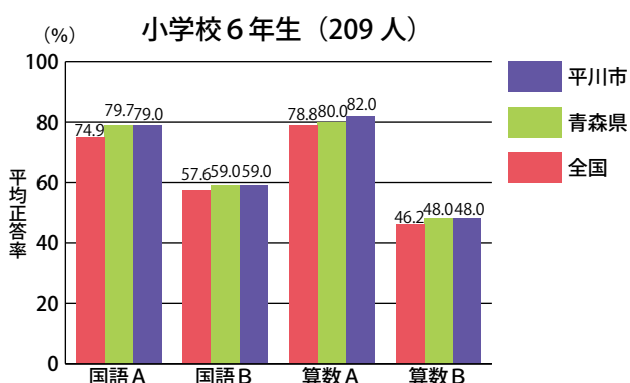
生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果

質問紙による結果を、平成 28 年の傾向【() が平成 28 年を示しています】と比較しながら見ていきます。

■テレビなどを 3 時間以上見るという小学生は 34% (34%) と、全国平均 33% をやや上回り、中学生は 23% (29%) と、全国平均 25% を下回っています。

■「学校が楽しい」と回答した小学生は 86% (88%) と全国平均 86% と同等です。中学生は 78% (84%) で、全国平均 81% をやや下回っています。

■家庭学習が 2 時間未満とする小学生は 84% (84%) と全国平均 73% と比べ、学習時間は少ない傾向になっています。また、中学生は 85% (83%) で、全国平均 65% と比べ、学習時間はかなり少ない傾向となっています。



青森県の状況

小学校

青森県は全国順位として、国語Aが 2 位、算数Aが 14 位、国語Bが 8 位、算数Bが 6 位と全国でも上位になりました。

中学校

青森県は全国順位として、国語A・Bともに 12 位、数学Aが 10 位、数学Bが 17 位になり、国語が昨年度より向上しました。

問合せ：指導課 ☎44-1111 (内線2292・2293)